

自助・共助を基本とした地域主体の 取り組みによる総合防災訓練(案)

府中市行政管理部防災危機管理課

府中市総合防災訓練の取組

平成24年度より、各訓練会場となる小中学校を中心に地域の自治会や自主防災組織に呼びかけ、事前の打合せや準備等を行っているが…

総合防災訓練会場

総合防災訓練地域打合せ会

地域の自治会長

PTA

青少年対策地区委員会

市立小中学校

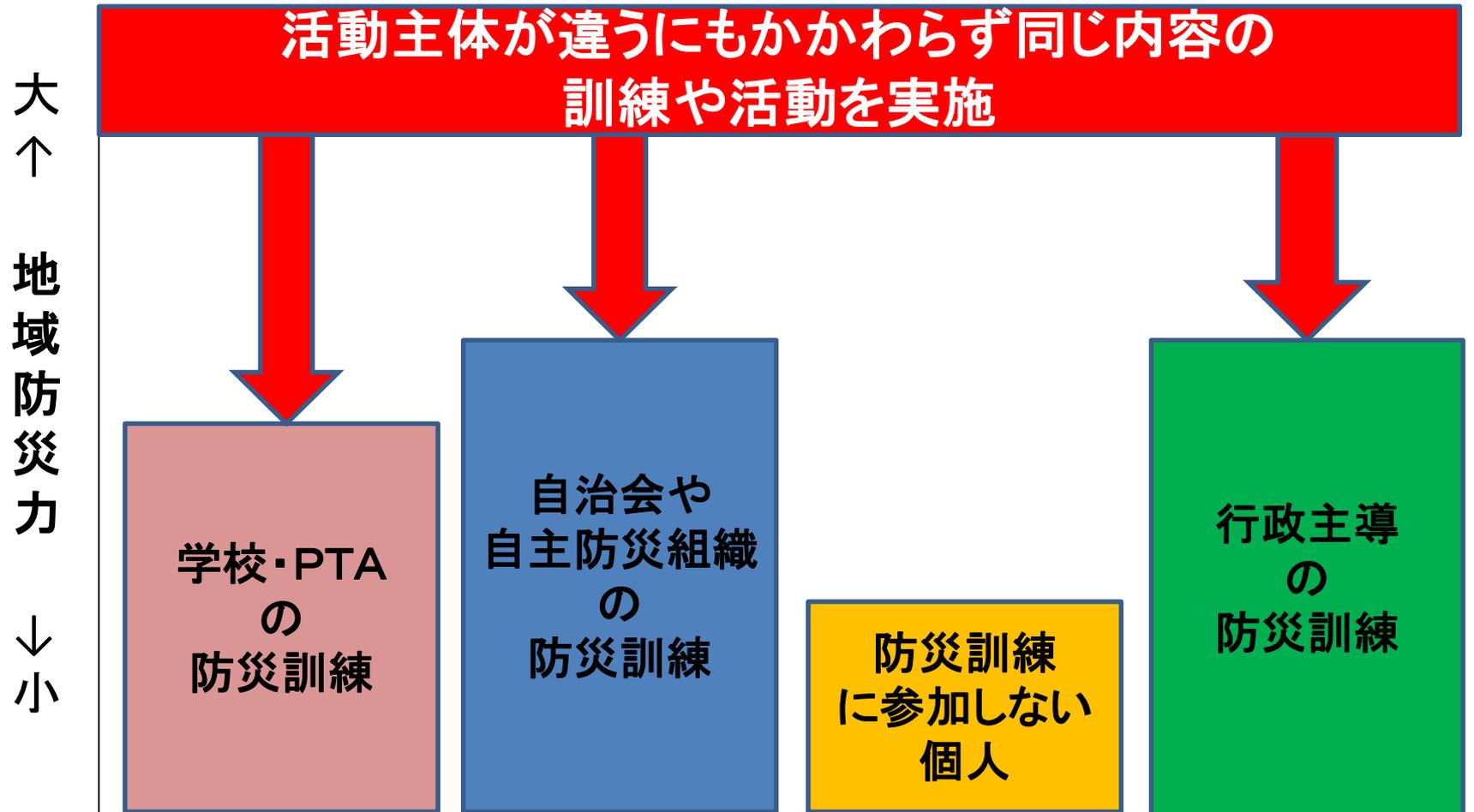
府中市総合防災訓練の課題と対応

- ・自治会の役員や特定の人々の参加しかなかったり、子どもの参加や高齢者、障害者、妊産婦などの避難行動要支援者の参加が少なく、幅広い住民の参加が得られない。
- ・訓練の広報は、自治会回覧や学校を通じた保護者へのチラシ配布等を行っている。
また、市のHPや広報紙でもお知らせしているが、既存の広報手段や訓練内容では、新たな参加者が得られない。
- ・自治会やPTAなど地域が主体的に取り組めるような訓練メニューが無いため、自助・共助の意識がまだまだ乏しく、行政依存の防災訓練である感が否めない。

このため、総合防災訓練の実施後、学校を中心に地域住民が主体となり、防災訓練や避難所運営に取り組めるような組織的な活動に結びついていない。

地域の様々な主体がそれぞれ抱えている防災上の課題を洗い出し、これら課題を解消できるような訓練メニューの創設や会場作りを行い、今まで防災訓練に参加することがなかった市民が参加しやすく、また、興味を持てるものを考える。

これまで、地域で行われている防災訓練は 同じような施策



その結果...

それぞれの組織における課題が埋まらない

大
↑
地域
防災力
↓
小

○子どもの安全
・子どもの引き取り
・放課後の地域での
子供の保護

○避難所の管理
・避難所の対応
・避難所の早期解消

学校・PTA
の
防災訓練

・若い世代の参加が
少ない
・防災リーダーのな
り手がない
・人数がない
・活動拠点が無い

自治会や
自主防災組織
の
防災訓練

○高齢や障害
・施設のバリアフリー
・会場までの移動
・休憩所など
○乳幼児と親
・授乳室
・乳幼児を抱える親
の防災対策
○自治会未加入
・地域とのつながり
・いざという時の協
力体制がない

防災訓練
に参加しない
個人

それぞれの組織
が抱える課題の
対応に追われ、
対策が進まない。

行政主導
の
防災訓練

理想は総合防災訓練をきっかけに
地域が主体となって地域を包括する防災訓練へ

総合防災訓練の目標(地域のあるべき姿)

地域の様々な活動主体を包括し共同で防災訓練を実施することで、
それぞれの主体が抱える課題を自ら解消できる地域防災訓練が行える。

地域合同防災訓練

学校・PTA
の
防災訓練

自治会や
自主防災組織
の
防災訓練

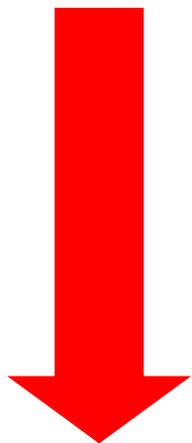
防災訓練
に参加しない
個人

行政主導
の
防災訓練

大
↑
地
域
防
災
力
↓
小

総合防災訓練の実施から 地域防災訓練が出来るようになるには

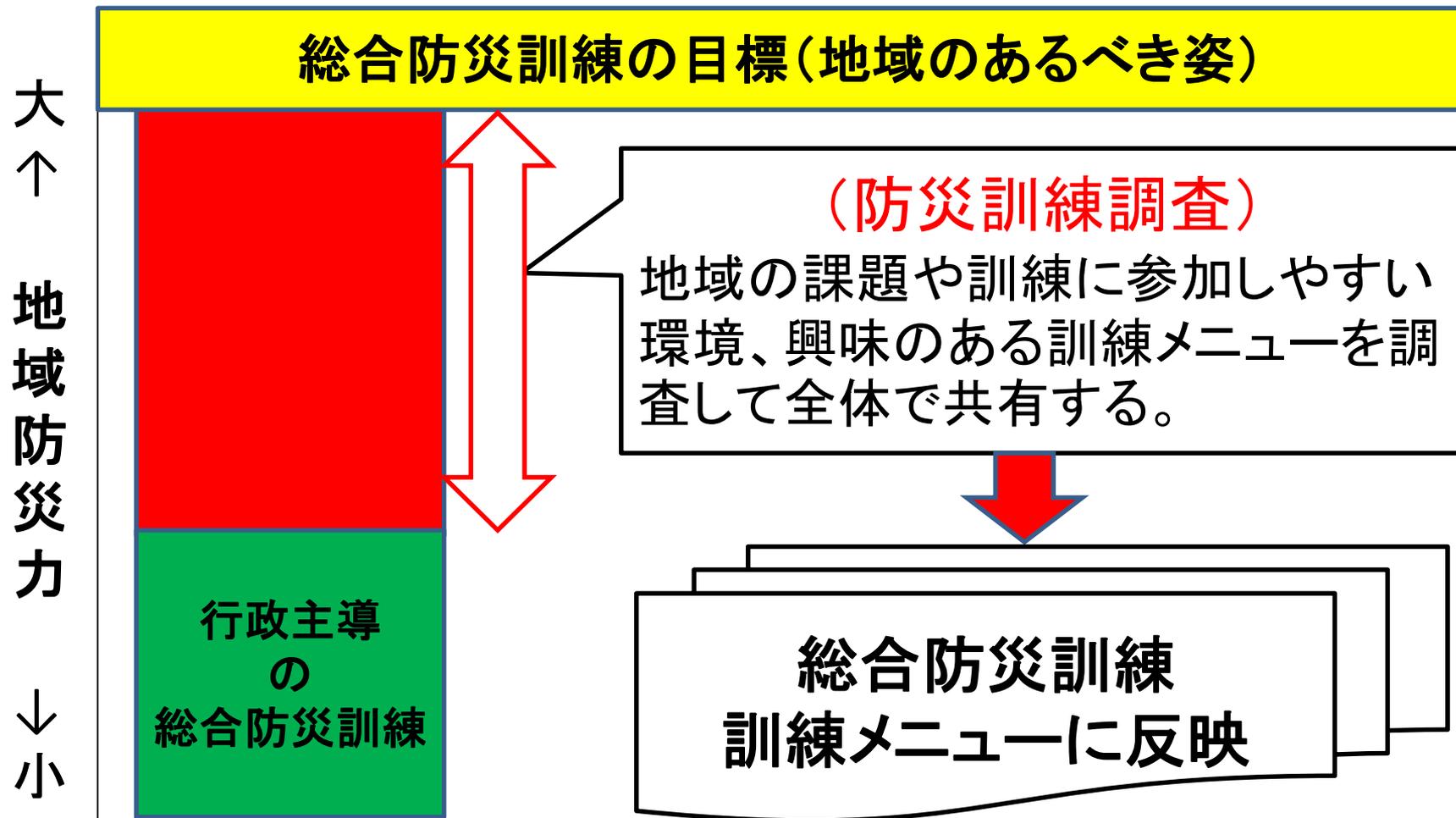
各主体への同一内容の防災訓練から



- 本当に必要な訓練
- 参加したい訓練
- 会場のバリアフリー等
- 主体的に取り組みたい訓練
- ※地域の情報を調査・活用して

地域の課題の解決に向けた合同訓練

総合同防災訓練を 地域防災訓練につなげるためには



総合防災訓練から自立した 地域主体の防災訓練がもたらす効果

地域が主体的に継続的にして防災訓練を実施することが出来るようになる。

様々な主体が参加することにより、地域が抱える防災の課題を解決へと結びつける。

継続した地域防災活動が世代を超え、郷土を守る共助の精神(自分のまちは自ら守る)が育まれる。

調査結果の活用による総合防災訓練の質の向上

- 1 防災訓練の調査結果(地域の課題、参加しやすい環境、訓練メニュー)を共有する。
- 2 第2回地域打合せ会の資料に反映する。
- 3 「自助」・「共助」で出来る内容を確認し、必要な訓練を実施する。

地域の主体が抱える課題や訓練に参加しやすい環境、
参加してみたい訓練を調査→次回打合せ会に反映

調査項目

調査対象

- 1 子を持つ親、PTA、学校
- 2 自治会、自主防災組織
- 3 障害者、高齢者を抱える世帯(老人会等)
- 4 乳幼児とその親、妊産婦等(PTA向け調査の中で)
- 5 自治会未加入者(PTA向け調査の中で)

調査の内容

問1 あなた自身やあなたの世帯が現在おかれている状況を教えてください。
該当する全ての項目に○を付けてください。

- ア 自治会に加入している
- イ 自治会に加入していない
- ウ 市立学校のPTA活動に参加している
- エ 老人会に参加している
- オ 子ども(小学生・中学生)がいる
- カ 要介護の高齢者や障害者がいる
- キ 乳幼児のいる世帯
- ク 妊婦がいる世帯
- ケ 昼間は市外へ通勤・通学している
- コ 昼間は市内で仕事をしている

調査の内容

問2 大地震等の大規模災害が発生した場合にあなたが心配していることは何ですか？
(5つ以内で○をつけてください。)

- ア 避難する場所がわからない
- イ 足腰が弱いなど体力的に避難するのが大変である
- ウ 高齢者や子どもを連れて避難するのが大変である
- エ 被害の情報をする方法がない
- オ 家が倒壊してしまうのではないかと
- カ 家が火事になってしまうのではないかと
- キ 地域での助け合うしくみがない
- ク 外出中に災害が発生した場合どうしたらいいか
- ケ 家族の安否確認をどうしたらいいか
- コ 避難所の環境が悪いのではないかと
- サ 市が何をどこまでしてくれるのかわからないこと
- シ 帰宅困難の可能性があり、子どもの安否が不安である
- ス マンション高層階での避難が困難
- セ マンション高層階での生活困難(エレベーターの停止や断水)
- ソ その他()

調査の内容

問3 あなたの**お住まいの地域で**、大地震などの災害が発生した場合、心配することは何ですか？ 該当するものすべてに○をつけてください。

- ア 木造住宅が多く火災が発生する危険がある
- イ 道路が狭いので避難しづらい
- ウ 道路が狭く消防自動車が入ってこれない
- エ 近くに避難できる公園等の広い場所がない
- オ 避難所(小中学校)などが遠い
- カ 高齢者が多い
- キ 昼間は若い人がいない(女性や子ども、高齢者が中心)
- ク 自主防災組織などがなく、個人ですべてやらなくてはいけない
- ケ 土砂崩れなどの危険がある
- コ 防災行政無線が聞こえにくい
- サ 避難所の行き方を示す看板がない
- シ その他()

調査の内容

問4 総合防災訓練において、あなたの参加する活動主体で「共助」の取組みとして、実施したい訓練に上位5つに○を付けてください。(何を実施したいですか?)

- ア 訓練会場に来る前の地域での安否確認訓練(声掛け)
- イ 災害要援護者がいる世帯(高齢者・障害者等)への避難支援(参加)の呼びかけ
- ウ 避難所までの避難活動・避難誘導
- エ 負傷者の応急救護・搬送訓練
- オ 訓練会場での本部(拠点)の開設
- カ 訓練会場での安否確認集計訓練
- キ 避難所の開設・運営協力(避難者でのカーペットの配布、仮設トイレの設置等)
- ク 避難所等の施設での災害時要援護者への配慮、バリアフリー対策
- ケ バールやジャッキ等の使用、倒壊家屋からの救出活動
- コ スタンドパイプや消火器等を活用した初期消火活動
- サ 地震体験・煙体験
- シ 応急救護訓練(AED含む)
- ス 乳幼児専門の応急救護訓練(AED含む)
- セ 炊き出し訓練
- ソ 通報訓練
- タ マンション等での避難用具の実演
- チ 負傷者や肢体不自由者等の搬送訓練や搬送器具の実演
- ツ 防災グッズ等の展示や斡旋販売(災害時要援護者向け含む)
- テ シェイクアウト訓練
- ト その他()

調査の内容

問5 総合防災訓練に広く住民の参加を得るために必要な取組みとして、**市(行政)及び地域**で行う必要のある環境の整備として必要なものに○を付けてください

(複数回答可)

- ア 会場内の応急的なバリアフリー化
- イ 会場までの経路及び会場内での車椅子等の誘導支援
- ウ 授乳スペースの確保
- エ 高齢者等が休憩できるスペースや椅子の確保
- オ 高齢者等が休憩しながら防災研修が出来るビデオ視聴室の設置
- カ 託児コーナー
- キ 保健師がいる医務室等の確保
- ク 誰でもトイレの確保
- ケ その他()

調査の内容

問6 総合防災訓練に広く住民の参加を得るために必要な取組みとして、**市及び地域が協力して**行う広報活動として必要であるものに○を付けてください
(複数回答可)

- ア 広報紙による周知
- イ ホームページによる周知
- ウ メール配信サービスによる周知
- エ 回覧(自治会・児童・生徒の父兄向け)による周知
- オ 安否確認訓練を兼ねたご近所への参加の呼びかけ(共助)
- カ 防災行政無線による呼びかけ
- キ 消防団の消防車等による広報
- ク その他()